

平成 29 年度

子ども大学ひらつか

奏アカデミー東海大学

- 開催報告 -

<今年度 開催概要>

- 【開催日時】 平成29年11月18日(土)および25日(土)
- 【会場】 東海大学湘南キャンパス19号館 301A・B教室
- 【参加者数】 市内小学校4～6年生 49名 (1日目43名、2日目41名)
- 【参加費】 無料
- 【開催数】 7回目 (平成23年度より毎年1回実施)

子どもの知的好奇心や感性を育てることを目的に開催している「子ども大学ひらつか」。
東海大学では理科実験をテーマに、大学教授・大学院生・大学生の皆様がそれぞれ工夫を凝らしたメニューで子どもたちを迎えてくれました。
普段体験できない大学の教室という充実した環境で学んだ経験が、参加した子どもたちの今後に活かされることを期待します。

<開催の様子>

楽しい真空実験



【講師】岡田工教授(現代教養センター)

あることがあたりまえの空気がなくなるとどうなってしまうのでしょうか？特殊なポンプを使ってビンの中の空気を抜くことで、普段見ることのできない真空の世界を体験しました。

「3・2・1 しゅぼしゅぼ～！」のかけ声とともに空気が抜かれ、中に入っているマシュマロが変化していく様子に、参加児童だけでなく大人も歓声をあげていました。

算数マジック教室

11月18日 AM



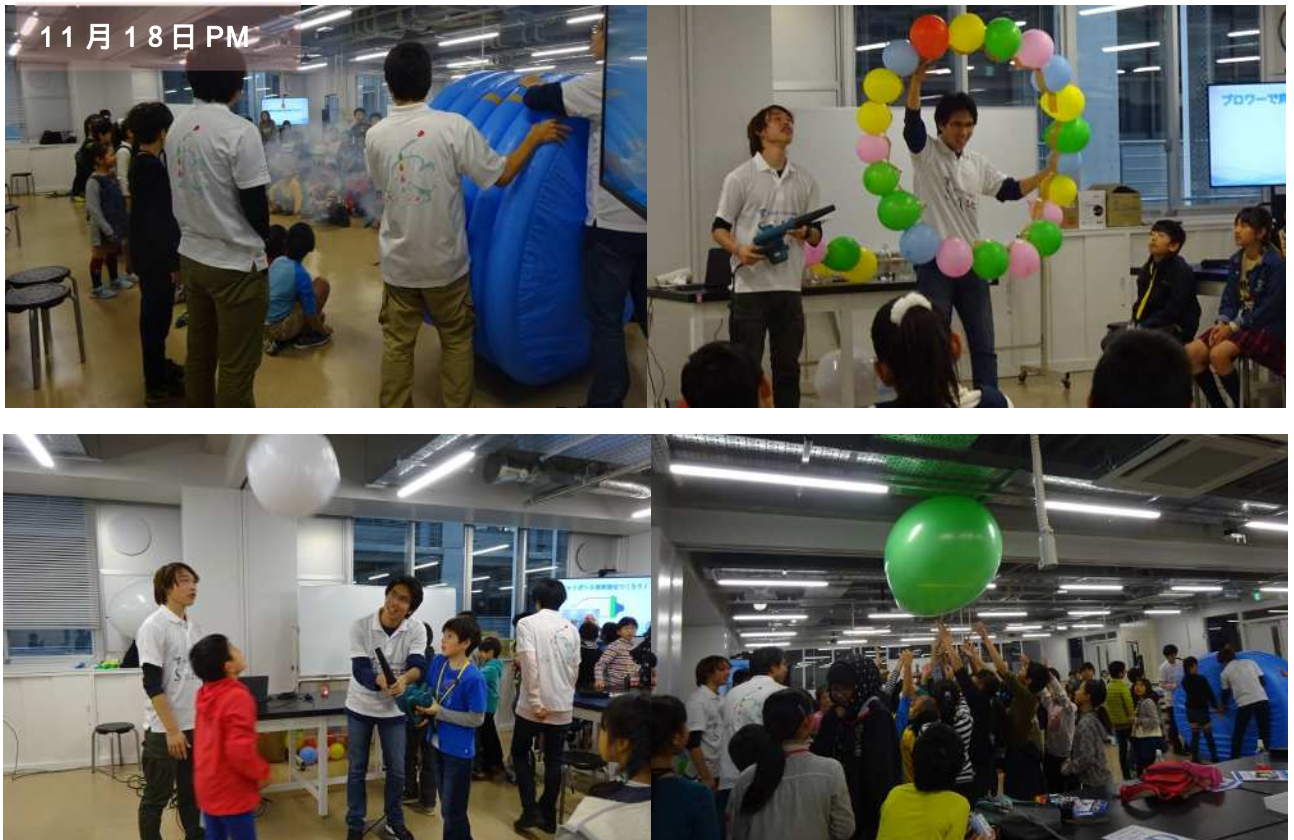
【講師】平野葉一教授（文学部ヨーロッパ文明学科）

平野教授が次々と見せるマジックですが、実はタネもしかけも普段勉強している算数の中に...？ 算数の好き嫌いにかかわらず、参加児童は教授の手元を興味津々に眺めていました。

午前中の締めくくりには全員でバンジーチャイムの演奏にチャレンジし、科学の力による美しい音色に耳を傾けました。

ファンタスティックエアー実験ショー

11月18日 PM



【講師】チャレンジセンター サイエンスコミュニケーター

科学の楽しさを伝えるために活動している大学生チームが講師を務めてくださいました。大きな空気砲やドライヤーの何倍も風力の強い機械などを実際に体験し、空気の持つ力について感覚的に学習することができました。

電気と磁石の不思議を探る



11月25日 AM

【講師】藤城武彦教授（理学部 物理学科） サポート：SSE とゆかいな仲間たち

発電機を自分の力で回したり、磁石の力を使ったりして電気が生まれる様子をグループになって学びました。藤城教授の説明の中には学校でまだ習っていないような専門用語も含まれていましたが、参加児童は目の前で起きている現象と聞き慣れない言葉をしっかり結びつけることができているようです。

身の周りの科学



11月25日 PM

【講師】SSE (Supporting Science Experiment)

5つのグループに分かれ、身の周りにあるものや身の周りで起こることをテーマにした理科工作を行いました。普段あまり接することのない現役大学生とのふれあいを通して、自分の将来のすがたを思い浮かべた児童もいたのではないのでしょうか。教室には終始にぎやかな声が響いていました。

<参加者の声>

声

子

- ・お兄さんやお姉さんがとてもやさしくて楽しかったです。
- ・真空という場所が見えないけどちがいがあるとか面白かった。
- ・お兄さんやお姉さんが、すごくみんなに分かりやすく説明していて、昔は科学は嫌いだったけど、今は科学が好きになりました。
- ・もうちょっと時間をのばしてほしい！
- ・ふだんできないことができてよかったです。
- ・いろいろなことを教えてくれたので、とても楽しかった。
- ・来年も子ども大学ひらつかに参加したい

...など（参加者アンケートより）

声

親

- ・親も一緒になって楽しめて、面白かった。
- ・なかなかできない経験、また入ることのない大学で開催していただいたこと、親子共々貴重な経験となりました。
- ・きれいな設備で、様々な実験道具を用いて興味深く受けることができたようでした。
- ・自宅に戻っても、その日に行った実験を試すなどしていました。
- ・キャンパスで学食を食べられるのも子どもたちにとってもいい経験です。
- ・東海大学の教職員、学生の皆様ありがとうございました。とても楽しく科学に触れることができました。

...など（保護者アンケートより）

（お問い合わせ）
平塚市教育委員会 社会教育課（社会教育担当）